

事業概要	成果・課題																
<p>◎中央公民館</p> <p>1. 運営維持管理事業</p> <p>(1) 施設利用状況 (4月～翌1月まで) (人)</p> <table border="1" data-bbox="408 338 1086 506"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>中央公民館</th> <th>女性センター</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6</td> <td>44,039</td> <td>7,889</td> <td>51,928</td> </tr> <tr> <td>令和7</td> <td>44,376</td> <td>7,978</td> <td>52,354</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>337</td> <td>89</td> <td>426</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 運営審議会 (任期 令和7年8月22日から令和9年8月21日まで) 第1回運営審議会 9月3日(水) 第2回運営審議会 3月17日(火)</p> <p>(3) 主な施設整備等</p> <p>①中央公民館冷温水発生機真空漏れ修繕(緊急)(工事費808千円) ②中央公民館屋内消火栓ポンプ呼水槽修繕(工事費570千円) ③中央公民館消防用設備修繕(工事費502千円) ④女性センター会議室空調改修工事(工事費770千円) ⑤女性センター調理室厨房機器側ガス漏洩に伴うガス配管増設修繕(修繕費1,177千円)</p>	年度	中央公民館	女性センター	計	令和6	44,039	7,889	51,928	令和7	44,376	7,978	52,354	増減	337	89	426	<p>1. 利用者数は昨年度に比べ全体で426人の増となった。中央公民館では昨年度大視聴覚室が照明工事で利用できなかった期間があったため、本年度多くなったと考えられる。</p> <p>老朽化した空調の冷温水発生機や消防設備も例年以上に不良箇所が見られたほか女性センターではガス漏れが発生しており、計画的な改修とともに、迅速な応急修繕対応方法を検討し、館運営に支障とならないように努める。</p>
年度	中央公民館	女性センター	計														
令和6	44,039	7,889	51,928														
令和7	44,376	7,978	52,354														
増減	337	89	426														
<p>2. 市民学習推進事業</p> <p>(1) 市民講座</p> <p>目的: 市民のニーズや生活・地域・社会的課題等を各種テーマにした講座を通じ自ら学び、出会い、また仲間づくりの機会を提供して、生きがいのある日常生活に寄与する。</p> <p>①春季講座</p> <p>ア) つるおか歴史散歩 ～鼠ヶ関の今から昔を探る～ (3回) 期日: 6月12日、7月3日(木) 13:00～15:00 ※座学 6月26日(木) 13:00～16:00 ※現地学習・鼠ヶ関 講師: 大川雄三氏(元山形県文化財保護指導委員) 受講者: 17人</p> <p>イ) 鶴岡の魅力発見 ～朝日さ行ってみようかな～ (1回) 期日: 6月18日(水) 9:30～16:30 ※現地学習・朝日 講師: 月山ダム地域防災センター職員 山船頭人協会ガイド 湯殿山注連寺住職 受講者: 20人</p> <p>ウ) はじめての津軽三味線 (4回) 期日: 6月3・10・17・24日(火) 10:00～11:30 講師: 木田林秀栄氏(津軽三絃秀栄会 会主) 受講者: 6人</p> <p>エ) 手づくりくらし DIYでキーボックスをつくる (3回) 期日: 6月19・26日、7月3日(木) 19:00～21:00 講師: 鹿内浩樹氏(大工・DIY指導員) 受講者: 5人</p>	<p>2.</p> <p>(1) 市民講座全般では、生活・歴史・文化などの多様な学習機会を提供することができた。</p> <p>今後も講座への要望や地域課題に関わる講座等の企画・開催に努める。</p>																

オ) 【特別講座】 シニア世代「お金」と暮らしの基礎知識 (3回)

期 日：6月24日、7月1日・8日(火) 14:00～15:30

講 師：橋本信氏 (明治安田生命山形支社)

：高橋ちあき氏 (庄内総合支庁)

受講者：20人

カ) シニアのためのパソコン講座

～はじめてのパソコン(初級編)～ (4回)

期 日：7月7日(月)・8日(火)・14日(月)・15日(火)

10:00～11:30

講 師：佐藤康治氏 (パソコン講師)

受講者：8人

②秋季講座

ア) 鶴岡の魅力発見 ～古き時代の文化財をめぐる～ (1回)

期 日：11月6日(木) 9:00～16:00

※現地学習・上郷・大山・藤島・羽黒地域

講 師：水上八幡神社宮司・上郷文化財愛護会会長

大山小学校同窓会長・東田川文化記念館館長

玉川寺住職・黒川能の里観光ガイドの会

受講者：18人

イ) 暮らしに役立つ筆ペン字講座～美しい筆文字を日常に～

(3回)

期 日：11月15・22・29日(土) 14:00～16:00

講 師：前森由紀氏 (県立高校非常勤講師)

受講者：15人

ウ) いつまでも元気に歩こう！ 足の健康教室 (2回)

期 日：11月18・25日(火) 19:00～20:30

講 師：武田洋氏 (B-CHANGE 代表)

受講者：15人

③短期講座

ア) 初心者のためのパソコン講座

～ワードコース、エクセルコース(初級編)～ (8回)

期 日：7月31日(木)、8月1日(金)・4日(月)・5日(火)

(ワードコース)

8月19日(火)・20日(水)・21日(木)・22日(金)

(エクセルコース)

13:30～15:00

講 師：齋藤由賀里氏 (パソコンサークル講師)

受講者：ワードコース8人、エクセルコース8名

イ) 基礎からのスマホ教室 (4回)

期 日：①8月28日(木)・②29日(金)、

③9月3日(水)・④8日(月)

13:30～15:30

講 師：スマホアドバイザー (ソフトバンク株式会社)

受講者：①11人、②18人、③9人、④8人

オ) 市民の生活課題に対応した特別講座として、お金についての講座を無料で実施。受講生からは「知識をアップデートでき、勉強になった」との声があった。今後も関係機関と連携し、質の高い無料講座の提供を続けていく。

カ) 高齢者向けパソコン講座は需要が高く、今後も継続して行い、高齢者のデジタルデバイドの解消を推進する。

ア) イ) 高齢者向けパソコンやスマホ講座は需要が高く、今後も継続して行い、高齢者のデジタルデバイドの解消を推進する。

<p>ウ) 和のぬくもりで灯す 冬の絵ろうそく体験 (1回) 期 日 : 12月10日(水) 19:00~21:00 講 師 : 小松優子氏 (富樫ろうそく店店主) 受講者 : 8人</p> <p>エ) モザイクタイルアートづくり (2回) 期 日 : 1月16日(金)、2月6日(金) 19:00~21:00 講 師 : 下妻さき子氏 (松岡窯陶芸教室) 受講者 : 5人</p> <p>④サークル共催講座</p> <p>ア) 誰でも描ける 楽しい水彩画 (6回) 期 日 : 6月1日(日)・16日(月)・22日(日)・29日(日) 7月7日(月)・27日(日) 13:30~16:00 講 師 : 牧小静氏 (ゑぐの会 会員) 受講者 : 11人</p> <p>イ) 篠笛を吹いてみよう (6回) 期 日 : 6月9日(月)・23日(月)、7月7日(月)・22日(火) 8月4日(月)・25日(月) 10:00~11:30 講 師 : 佐藤真樹氏 (篠笛の会 指導者) 受講者 : 5人</p> <p>⑤特別講演会</p> <p>ア) AIで変わるこれからの暮らし (入門編) (1回) 期 日 : 2月8日(日) 13:30~15:30 講 師 : 植田和憲氏 (東北公益文科大学 准教授) 受講者 : 44人</p>	<p>エ)モザイクタイルアートは講座で作った作品を早春文化展において展示することで、ものづくりの楽しさと製作意欲の向上が図られた。</p> <p>④サークル共催講座では講座終了後も続けたいという受講者が見られ、サークル加入に繋がった(ゑぐの会2人、篠笛の会2人)。今後もサークルの活性化や仲間づくりのため、共催講座の開催を支援していく。</p> <p>⑤地域課題解決講座としてAIの基礎知識や活用方法について無料で講演会を実施し、地域の課題から普段の生活までAIをどう活用できるか考えるきっかけづくりになった。</p>
<p>(2) 勤労青年国内研修</p> <p>目 的 : 兄弟都市鹿児島市との青年研修交流(派遣・受入れ)を通して、鶴岡市と鹿児島市との関わりを学ぶとともに、郷土の理解を深め、地域を愛し、地域づくりに貢献する青年リーダーを養成する。 研修生3人と同行者1人を鹿児島市へ派遣した。</p> <p>期 日 : 10月24日~26日 (2泊3日)</p>	<p>(2)今年度は鹿児島市へ研修生を派遣した。鹿児島市長表敬訪問を始め、西郷隆盛ゆかりの地の訪問等、本市と鹿児島市との縁に触れながら、鹿児島市の青年との交流を図り、歴史的な結びつきだけではなく、精神的な結びつきについても学ぶことができた。</p>
<p>(3) 中央公民館文化祭</p> <p>目 的 : 日常のサークル活動の成果発表の場や、市民が気軽に芸術文化に触れる鑑賞の場を提供することで、地域における芸術・文化活動を推進するとともに、サークル相互の交流を</p>	<p>(3)中央公民館では、ステージ出演団体が増加した。展示部門は今年度放課後子ども教室の5団体か</p>

<p>深める。</p> <p>期 日：ステージ＝9月28日(日) 10:00～16:00 展 示＝中公：9月26日(金)～28日(日) 3日間 9:00～16:00 ※最終日は15:00終了 女性センター ：9月27日(土)～28日(日) 2日間 9:00～16:00 ※最終日は15:00終了</p> <p>対 象：ステージ＝中公サークル連絡会会員・女性センター登録 サークル連絡協議会会員・市内コミュニティセ ンター所属のサークル 展 示＝中公サークル連絡会会員・女性センター登録サ ークル連絡協議会会員・講座受講生 放課後子ども教室</p> <p>協 力＝健康チェック測定(明治安田生命)</p> <p>参加者：ステージ＝出演27団体209人、来場者602人 展 示＝中公：出品16団体150人、来場者549人 女性センター ：出品13団体91人、来場者421人</p>	<p>ら参加していただいた。</p> <p>昨年度と比較し、出演者、出品者、来場者ともに増加した。</p> <p>女性センターでは、展示の出演団体数が減少したが成果発表を通して日頃のサークル活動を広く周知する良い機会となっていて、文化祭を通して会員の技術向上やサークル相互の交流が図られた。</p>
<p>(4) 早春文化展</p> <p>目 的：市民が、日頃から趣味や教養として学んできた成果である作品を展示する機会を提供するとともに、多くの市民に観賞、交流する場を提供する。また、早春らしい作品を展示することにより、来館者に春の気配が感じられるような温かい雰囲気を出す。</p> <p>期 間：2月20日(金)～23日(月・祝)4日間 10:00～16:00</p> <p>対 象：鶴岡市内に在住または勤務している方 (出品者数153人、出品点数379点)</p> <p>来館者：580人</p> <p>その他：特別出品として、中央公民館登録サークルの協力により、東洋蘭、洋蘭の展示を行った。</p>	<p>(4) 市民が制作した作品の発表、鑑賞の機会を提供することができた。</p> <p>出品者数と出品点数は昨年度より減少したが、初めて出品される方も多く幅広いジャンルの作品を展示することができた。</p> <p>周知方法についてSNS等を使い来館者の増加を図っていく。</p>
<p>(5) サークル育成</p> <p>目 的：中央公民館サークル連絡会及び加入サークル等の育成</p> <p>方 法：市広報及びチラシ等によるサークル周知と会員の加入促進。新規サークル結成のための相談受付及び支援。</p> <p>年間事業：総会・常任役員会・運営委員会・文化祭・交流会・市民講座におけるサークル共催講座の開催・早春文化展(個人参加)への出品協力・地域への社会貢献(学習成果を地域や市民へ還元)</p> <p>サークル数・会員数：47サークル597人(令和8年2月現在)</p>	<p>(5) サークル会員の高齢化により会員数が減少傾向にある。</p> <p>サークル共催講座や文化祭、早春文化展でのサークル活動の周知により会員が増加した団体も見られたが、市民講座のサークル化はならなかった。</p>

<p>(6) 少年少女古典素読教室 (共催：公益財団法人致道博物館・致道館文化振興会議)</p> <p>目 的：江戸時代の末期に、庄内藩校「致道館」で行われていた中国古典（論語）の読み方を学習しながら、大きな声を出して読み（素読）、古典に対する理解と関心を高め、鶴岡独自の学風を継承する。また、郷土の史跡や文化財めぐりを通じて仲間づくりをすすめるとともに、豊かな風土と先人の生き方に触れることにより、将来の人材を育成する。</p> <p>対 象：小学校1年生～中学校3年生 ※保護者等大人の参加も可</p> <p>期 日：6月7日(土)～8月2日(土) 15回 ※6～7月は、毎週土曜日 8:00～8:40、 7月28日(月)～8月2日(土)は、毎日 7:20～8:00</p> <p>会 場：致道博物館 講 師：致道博物館・致道館文化振興会議会員 6人 受講者：小学校1年生～中学校3年生 12人、大人 5人 史跡文化財巡り：6月29日(日) 9:30～15:30 朝日地域周辺の史跡文化財巡り、親子 20名参加</p>	<p>(6) 社会情勢の変化に伴い子どもたちが多忙となっていて、受講者が減少傾向にあるが、受講生の中には論語素読検定などに挑戦するなど、素読教室の閉講後も進んで学んでいる。</p> <p>歴史ある致道館教育の良さを後世に伝えるため、内容や日程を共催団体と協議をし、子どもたちや保護者にとってより受講しやすくなるよう検討していく。</p>
<p>(7) こども文化クラブ（共催：NPO 法人鶴岡市芸術文化協会）</p> <p>目 的：子どもたちが伝統文化に触れる体験を通し、理解と関心を高め相互の交流を図る。</p> <p>対 象：鶴岡市内の小学生 ・はじめてでも大丈夫 かわいいお花で🌸ときめき🌸レッスン！ (2回)</p> <p>期 日：6月7日、6月21日(土) 10:00～11:30 講 師：阿部剛氏（小原流鶴岡支部）(6/7) 古本理曉氏（古流松應会庄内支部）(6/21) 受講者：4人</p>	<p>(7) 共催先と協議し、子どもたちが興味を持つような内容の講座を企画した。二流派の生け花を体験でき、子どもたちが伝統文化に触れて交流することが出来た。</p>
<p>(8) 地域生涯学習講座</p> <p>目 的：鶴岡地域の15郊外地区の自治振興会が、コミュニティセンターを会場に実施する生涯学習の講座を支援する。</p> <p>対 象：主に地区の高齢者を対象としているが、交流事業については保育園児や小中学校児童生徒等も含む。</p> <p>担当地区：9地区（大泉・京田・栄・田川・上郷・三瀬・小堅・湯野浜・西郷）</p>	<p>(8) 案内のあった小堅・湯野浜・西郷地区の講座に参加し、運営の充実を図った。</p> <p>今後も、各地区の要望に沿った支援を行う。</p>

(9) 市民ギャラリー

目的：日頃、表現活動や発表機会の少ない団体や個人の活動を紹介するとともに、中央公民館談話室をこれらの団体等の生涯学習活動の発表の場となる展示ギャラリーとして気軽に利用していただくことにより、日常生活に活力と潤いを与え、広く市民の芸術文化の振興に努めるものである。

対象：一般市民が趣味等の学習活動で作成した作品の展示

期間：通年

【参加団体等一覧表】4 団体

参加団体（氏名）	展示会の名称	日程	出展数	入場者数
青峰書道ペン字教室	青峰書道ペン字教室作品展	9月12日（金） ～9月15日（月）	165	260
奎城書道教室	奎城書道教室作品展	11月6日（木） ～11月12日（水）	85	150
鶴岡東洋蘭同好会	第21回 柄物春蘭寒蘭展	11月15日（土） ～11月17日（月）	57	100
おんがくハウス	第7回こどもの絵画 レッスン生作品展	11月22日（土） ～11月27日（木）	36	100
計			343	610

(9) 令和7年度は昨年度比3団体の減となった。展示した団体は過去に利用実績がある団体であったことから、生涯学習や芸術文化活動の発表の場として定着し活用されている。

◎視聴覚部門

1. 視聴覚学習推進事業

(1) 中央公民館（庄内）視聴覚ライブラリー開設、運営

目的：旧庄内視聴覚ライブラリーから引き継いだ視聴覚教（16mmフィルム、VHS、DVD）を保育所等、社会教育団体に貸し出し、庄内5市町貸出しも実施する。

貸出実績：7件、13本（他市町への貸出し含む）

メディア内訳：16ミリフィルム9本、VHS2本
DVD2本

(2) おとなのための名画館、子ども映画会の開催

目的：16mmフィルム教材映画を活用し、教育的意義をもった良質な教材映画の視聴機会を提供する。

内容：ライブラリーに保管されている昭和から平成初期制作の16ミリフィルムから選定し、おとなと子ども向けの上映会を実施する。

①おとなのための名画館「発掘！ちょっと昔の16ミリ映画会」

アンコール上映会

- ・11月20日（木）14:00～15:00

上映作品：社会ドラマ「そこに、愛」田村高廣主演
古典アニメーション「くずの葉ぎつね」

会場：3階視聴覚室、参加者：大人19人

- ・2月25日（水）14:00～15:30

上映作品：社会ドラマ「ぼくの熊おじさん」ハナ肇主演
社会ドラマ「手のひらの詩」
古典名作アニメーション「竹取物語」

会場：3階視聴覚室、参加者：大人22人

②子ども映画会

12月20日（土）14:00～15:00

1. (1) 貸出し件数は昨年度より減少、特に市町間貸出・借用在低迷した。

優良なコンテンツはあるが、16ミリ映写機、VHSデッキなど視聴用機材が施設（コミセン、自治公民館含む）にはない。ライブラリーの在り方が課題となっている。

(2) ①おとなのための名画館は、7年度は過去の参加者リクエストを参考に人気の高い名作を再上映した。視聴者は固定化しているが、毎回自然に拍手が起こるなど、満足度が高い。

(2) ②子ども映画会は事前予約を不要とし、プラネ

<p>上映作品：NHKにんぎょう劇場 「三びきやぎのがらがらどん」 絵本アニメーション「にゃーご」 絵本アニメーション「ともだちや」</p> <p>会 場：1階大視聴覚室 参 加 者：子ども17人、大人15人</p>	<p>タリウムの一般公開日にあわせて開催し参加しやすくなった。前年度、事前予約が振るわなかった反省から、番組を16ミリにこだわらず、DVD等に切り替え、子育て親世代に親和性が高い絵本アニメに番組を切り替えた。</p>
--	--

2. 天文学習及びプラネタリウム活用事業

目 的：プラネタリウムを活用して、天文教育、情操教育、レクリエーションに役立てる

(1) 一般公開

① 子ども向け（デジタル番組）

期 日 「番組名」	日数	回数	観覧者数(人)		
			子ども	大人	合計
ゴールデンウィーク(4/26・29・5/3) 「おしりたんていコズミックフロント～ コズとなぞとき！うちゅうのおおど ろぼう～」 「プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模 型」	3	12	329	285	614
平日(6/2) 「おしりたんていコズミックフロント～ コズとなぞとき！うちゅうのおおど ろぼう～」 「プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模 型」	1	3	78	63	141
夏(7/26・27・8/2・10・11) 「おしりたんていコズミックフロント～ コズとなぞとき！うちゅうのおおど ろぼう～」 「プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模 型」	5	15	407	355	762
秋(10/11・27) 「おしりたんていコズミックフロント～ コズとなぞとき！うちゅうのおおど ろぼう～」 「プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模 型」	2	6	138	113	251
冬(1/31・2/1・7) 「おしりたんていコズミックフロント～ コズとなぞとき！うちゅうのおおど ろぼう～」 「プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模 型」	3	9	224	203	427
春(3/15・20・21) 「おしりたんていコズミックフロント～ コズとなぞとき！うちゅうのおおど ろぼう～」 「プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模 型」	3	9			

2. 定員に達している上映が多いため、上映日数、回数を昨年度より増やし、多くの方から観覧していただいた。

周知については、チラシやLINEの活用に加えインスタグラムを開設し若い層にも積極的に情報発信をおこなった。

②大人のためのプラネタリウム（デジタル番組、一部自作番組）

期 日 「番組名」	日数	回数	観覧者数(人)
夏 (7/26・27・8/2・10・11) 「オーロラの調べ 神秘の光を探る」(+星空解説 10分) 「星の旅～世界編～」(+星空解説 10分)	5	10	311
秋 (10/11) 「星の旅～世界編～」	1	1	31
秋 (11/7・10) 「熟睡プラ寝たリウム」	2	4	106
冬 (1/31・2/1・7) 「星の旅～世界編～」+星座解説 「オーロラの調べ 神秘の光を探る」(+星空解説 10分)	3	3	100
春 (3/15・20・21) 「星の旅～世界編～」+(星座解説 10分) 「オーロラの調べ 神秘の光を探る」(+星空解説 10分)	3	3	

(2) 星と音楽のプラネタリウム(自作番組)

期 間 「番組名」	日数	回数	観覧者数(人)			
			子ども	大人	合計	
七夕 (6/13～7/5) 「ぴっかとお星さま」	団体投映	15	26	901	188	1,089
	一般公開	2	8	193	186	379
クリスマス (12/3～22) 「ぴっかとお星のおはなし」	団体投映	11	16	446	99	545
	一般公開	3	12	198	193	391

(3) 天文移動教室

対 象：庄内地区の小学4、6年生（観覧を希望する小学校）
期 日：9月3日～10月3日の平日
参加校：市内25小学校、市外11小学校
観覧者：子ども1,435人 大人110人 計1,545人

(4) 団体観覧

・投映可能日において各種団体（概ね10人以上）を随時受入

時 期	団体数	観覧者数(人)		
		子ども	大人	合計
春 (4～5月)	0	0	0	0
夏 (6～8月)	15	141	145	286
秋 (9～11月)	12	97	237	334
冬 (12～2月)	4	28	28	48
春 (3月)				

②今年度大人番組を2本上映し、癒しのデジタル番組と季節の星空解説を組み合わせ実施した。11月に実施した「熟睡プラ寝たリウム」は定着が見られきており、毎年楽しみにしているという声も多く、枕・毛布の持込可能としたため、「リラックスできた」と好評だった。新たにSNSで情報発信し、初めてプラネタリウムに来た観客も多くいた。

(2) 星と音楽のプラネタリウムは、庄内一円の多くの保育園等から観覧があった。当館オリジナルキャラクターの「ぴっか」の映像や七夕やクリスマスについての絵本をプラネタリウムドームに投影し大変好評であった。

(3) 天文移動教室では、庄内一円の小学校から観覧希望があり、教科書とは違った天文学習として好評だった。

(4) 団体観覧では、投映日時等、各団体の要望に対応されるよう柔軟に対応し、昨年度より倍の団体から観覧していただいた。今年度は幼稚園等の行事や、町の子ども会、また養護学校などの観覧が多かった。

◎女性センター

1. 女性講座運営事業

(1) 春季・秋季・短期講座

目的：地域社会における多様な課題等をテーマにした魅力ある講座を通して、「集い・学び・交流する」機会を提供し、充実した生きがいづくりに努める。

① 春季講座

ア) 身体と心をととのえるフィットネス講座【昼】(4回)

期 日：6月6日・13日・20日・27日(金) 13:30～15:00

講 師：佐藤しおり氏(健康運動指導士)

受講者：15人

イ) 身体と心をととのえるフィットネス講座【夜】(4回)

期 日：6月2日・9月16日・23日(月) 19:00～20:30

講 師：佐藤しおり氏(健康運動指導士)

受講者：14人

ウ) ～海からの贈りもの～ シーグラスでサンキャッチャーを作ろう(2回)

期 日：6月14日・28日(土) 10:00～12:00

講 師：高瀬美来氏(ビーチコーマー)

受講者：9人

エ) 春からはじめる！インスタグラム入門(3回)

期 日：6月3日・10日・17日(火) 19:00～20:30

講 師：榎本美歩氏(動画クリエイター)

受講者：14人

オ) 革でつくるデイリー使いのスマホショルダー(3回)

期 日：6月4日・11日・18日(水) 19:00～21:00

講 師：野村将太氏(カワリメイク)

受講者：11人

② 秋季講座

ア) 生き生き健康エクササイズ【昼】(4回)

期 日：10月29日・11月5日・12日・19日(水) 13:30～15:00

講 師：石関海花氏(健康運動指導士)

受講者：7人

イ) 生き生き健康エクササイズ【夜】(4回)

期 日：11月4日・11日・18日・25日(火) 19:00～20:30

講 師：石関海花氏(健康運動指導士)

受講者：10人

ウ) ～和の手仕事～吊るし飾り入門(3回)

期 日：10月31日・11月7日・14日(金) 13:30～15:30

講 師：田村まき子氏(Twinkle Life)

受講者：12人

エ) ソラフラワー～自然の素材を楽しもう～(2回)

期 日：11月6日・13日(木) 14:00～15:30

講 師：石堂佳美氏(くらふと松ヶ岡こうでらいね)

受講者：5人

オ) 【特別講座】これからの毎日を安心して過ごすためのフレイル予防講座(1回)

(1) 春季講座、秋季講座では、生活に役立つ学習や物づくり、健康づくりのための軽運動など、多様な学習機会を提供することができた。

申込の多い講座は、定員を増やすなど、受講者の要望に対応した。

周知については、広報やチラシの紙媒体の活用に加え、SNSでの情報発信に今後も努めていく。

エ) インスタグラム入門講座は、人気のため定員を増やしたが、その後の問い合わせも多く、ニーズの高さが伺えた。見るだけでなく自分で投稿する「実践」型の講座となった。

期 日：11月26日（水）13：30～15：30
講 師：鶴岡市地域包括ケア推進課介護予防支援員
庄内余目病院 看護師長
受講者：13人

③短期講座

ア) ～食で愉しむ自分時間～（料理講座）

○第1弾 身近で簡単“蒸す”調理法

期 日：5月30日（金）10：00～13：00

講 師：海藤道子氏（ごちそうカイトン）

受講者：18人

○第2弾 手軽にはじめるスパイス料理

期 日：6月25日（水）10：00～13：00

講 師：新堀貴美氏（ツバメ雑貨店オーナー）

受講者：18人

○第3弾 季節を味わうバランス料理

期 日：10月29日（水）10：00～13：00

講 師：小野寺紀将氏（やさいの荘の家庭料理菜あ）

受講者：18人

○第4弾 体にやさしい麴ごはん

期 日：1月23日（金）10：00～13：00

講 師：丸山里美氏（麴マスター）

受講者：17人

○第5弾 鯛を丸ごと味わう一日

期 日：3月10日（火）10：00～13：00

講 師：片倉忠直氏（庄内浜文化伝道師）

受講者：18人

イ) 春を告げるミモザのリースづくり（1回）

期 日：1月30日（金）19：00～21：00

講 師：小向美佳氏（flowershop カメレオン）

受講者：12人

ウ) 春を告げるミモザのリースづくり（1回）【追加開催】

期 日：2月6日（金）19：00～21：00

講 師：小向美佳氏（flowershop カメレオン）

受講者：12人

エ) からだと向き合う呼吸の時間（3回）

期 日：3月2日・9日・16日（月）19：00～20：30

講 師：蓮池理沙氏（ヨガ講師）

受講予定者：17人

オ)【かがやき女性塾】「自分らしい幸せのカタチをさがそう！」
～“ととのえる”からはじめるハッピー習慣（3回）

受講者：24人

○第1講

期 日：11月7日（金）19：00～20：30

講 師：メタジェンセラピューティクス株式会社職員

演 題：「鶴岡を基点に全国・世界へ～日本初の“献便”
施設から見つめる自分らしい暮らし～」

○第2講

期 日：11月14日（金）19：00～20：30

イ) ウ) ミモザを使ったリース作り講座は、国際女性デーにちなみ実施した。受付開始から程なく定員に達し、追加で開催した。参加した方からは、一足早い春を感じることができた」と好評を得た。

オ) かがやき女性塾は、自分らしい幸せのカタチを腸内環境、姿勢、住まいと異なる分野から“自分をととのえる”ことの大切さに気づく機会を提供した。初めて女性センターの講座を受講する方が7割を超え、その後の講座やサークル活動への関心につな

<p>講 師：佐藤智恵子氏 (Re. body. maintenance) テーマ：「カラダの歪みをととのえる～楽な姿勢、美しい姿勢～」</p> <p>○第3講 期 日：11月21日(金) 19:00～20:30 講 師：五十嵐真理子氏 (キレイラボ) テーマ：「自分の身の回りをととのえて最幸の人生を」</p> <p>カ)【特別講座】子育て応援講座(1回) こどもまんなか!親子で体感!姿勢改善エクササイズ 期 日：6月28日(土) 13:30～15:00 講 師：高橋綾子氏 (カイロプラクター) 受講者：5組9人</p>	<p>がった。</p>
<p>2. 職業支援事業</p> <p>目 的：就職に有利な知識・技術の習得や、より専門的な資格取得のための講座を開設し、充実した職業生活の推進に努める。</p> <p>(1) 調理師資格取得準備講座 調理師試験合格をめざして(15回) 期 間：6月17日～10月7日(火) 19:00～20:30 講 師：薬剤師、栄養士 計4人 受講者：18人</p> <p>(2) 女性のための就業支援パソコン講座 期 間：6月9日～6月19日 13:30～16:00(9回) 講 師：齋藤由賀里氏 (パソコンサークル講師) ハローワーク鶴岡担当職員 受講者：9人</p> <p>(3) 女性のための就業支援パソコン講座 期 間：2月24日～3月6日 13:30～16:00(9回) 講 師：齋藤由賀里氏 (パソコンサークル講師) ハローワーク鶴岡担当職員 受講者：8人</p>	<p>(1) 調理師試験に向けた講座は、定員を超える申し込みがあり、スキルアップの支援ということで、全員を受け入れ実施した。</p> <p>(2) (3) パソコン講座は、30～60代までの幅広い年代の方から受講をいただいた。 ハローワークとも連携しながら実施し、再就職支援の一助となった。 今後は、Word・Excel以外の項目を取り入れ、知識の習得支援を行う。</p>
<p>3. 家庭支援フォローアップ事業</p> <p>(1) 親子ふれあい教室</p> <p>目 的：親子での共同体験を通して、親子のふれあいを深め、明るい家庭づくりを支援する。</p> <p>ア) 親子でSDGS!～森林をまなび、木にふれて、はしをつくらう～(1回) 期 日：8月9日(土) 9:30～11:30 講 師：山形県庄内総合支庁職員 受講者：5組11人</p> <p>イ) 野菜を使った蒸しパンをつくらう!(兼:男性料理教室) 期 日：2月28日(土) 10:00～12:00 講 師：高見尚子氏 (つちとね) 受講者：8組20人</p>	

<p>(2) 男性料理教室 目的:家庭支援の一環として調理をとおして家庭における男性の自立を目指し、男女共生の力を育成する。 ア) 野菜を使った蒸しパンをつくろう！(兼:親子ふれあい教室) 期 日:2月28日(土)10:00~12:00 講 師:高見尚子氏(つちとね) 受講者:8組20人</p>	<p>(2)男性×親子の料理教室のコラボ講座は、親子で協力しながら、野菜を使った蒸しパン作りに取り組み、親子と一緒に“ものづくり”を楽しむことができた。 今後も要望に沿った講座の企画、開催に努めていく。</p>
<p>4. 女性センターサークル育成 目的:女性センター登録サークル連絡協議会及び加入サークル等の育成 方法:市広報及びチラシ等によるサークル周知と会員の加入促進。新規サークル結成のための相談受付及び支援。 年間事業:総会、事務局会、役員会、研修旅行、文化祭 サークル数・会員数:26サークル 252人(R8.1月末現在)</p>	<p>4. 会員の高齢化や会員数の減少など課題はあるが、年間を通して新規入会者もあり、今後もサークル共催講座などで会員の増加を図りながら活動を支援していく。</p>